さいたま教組情宣

さいたま市
教職員組合
（埼教組）

TEL 641-6763
FAX 648-3567
e-mail
saisikyouso@mx2.
et.tiki.ne.jp

2002.11.15(金)
No.１５

誰のための研究組織か？

（さいたま市教育研究会の運営をめぐって）

十一月二十八日（木）に、第二回目のさいたま市教育研究会の教育研修大会が市内各地で開かれます。

年度当初の評議員会に続いての大きな集会が開催されるにあたって、この研究組織の運営についての疑問を提起したいと思います。

98/300で成立してしまう評議委員会は正常か

去る六月七日、市民会館うらわのホールにてさいたま市教育研究会の第1回評議員会が開かれました。

果たしてこれが民主的なのか

この日の評議員会の構成員は300名。その中で評議員の出席は98名ですから、会は不成立でした。しかし委任状が133あったため、何とか成立ということになりました。形式上、会は不成立ではありませんでしたが、果たしてこれは民主的といえるでしょうか。

委任状制は早急になくすべき

4000人を擁する会が総会制をとるのは、会場等の問題で困難さがあることはわかりますが、評議員はいわば学校の代表です。その代表の参加が三分の一以下で、これを補う形で委任状を認めてしまったのではますます現場の声が反映しづらくなります。総会で決定した委任状制ですが、これは早急になくすべきです。

会員の1～2%で物事が決定する評議委員会

また、この日の評議員会では、議案を採決をする際に、出席評議員98名の過半数50名で物事を決定してしまうわけですから、会の運営は民主的であったとは必ずしもいえません。50名は全会員4000名の1．25%です。会員の1～2%で物事が決定する大きな要因は評議員の数と委任状制です。その意味でも会の運営の早急な改善が必要といえます。

二重の資格を持つ評議員

評議員は各学校より2名選出されます。そのうちの1名は必ず校長がなることになっています。何故か。運営委員の答弁は、「校長に研究についての自覚を持って欲しいから」とのことでしたが、当日の出席はそれとは裏腹のものでした。

また各教科領域の専門部の部長も評議員になります。現在の専門部は二十二あり、そのうち二十一の専門部長を校長が占めています。つまり二十一名の校長は二重の評議員の資格を持つことになり、その責任は極めて重いといえます。

市教研は校長の組織？

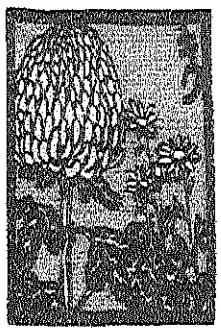
しかし二重の資格を持つ評議員というのは極めて不正常です。このままでは市教研は校長の組織なのではないかと思われてもしかたがありません。評議員会の運営をより民主的にする意味でも、専門部の評議員を校長でなくするか、部長を校長でなくすることが必要と考えます。

また評議員会の議案は当日配布でした。事前に検討する猶予を会員の与えることなく決定してしまうずさんさも改善されてもよいのではないでしょうか。

研究に予算上の差をつけることが望ましいのか

市教研は今年の専門部の活動予算を、部員の数に応じて細分化して割り当てる方式をとりました（十一段階）。基礎額を十一万円とし部員五十人ごとに3万円ずつ足していく方式ですが、部員の数で研究に財政上の差をつけてよいものでしょうか。そもそも部員については学校によって様々であり、希望制に必ずしもなっていないところもあったり、規模の小さい学校では二十二の部会に全部入りきれないという実態もあったりで、部員の決定自体が統一性がありません。仮に人数がこのようであったとしても、研究に財政上の差をつける事は、研究の軽重を認めるようで、必ずしも民主的あるとは言えないのではないでしょうか。

以上の面で市の教育研究会が本当に教職員全体の研究組織になるためには、クリアしなければならない様々な問題があります。早急な検討と改善がされない限り、一般の教職員からは「私たちの研究会」という実感はもたれないでしょう。一日も早い改善を望みます。



雑記

①旧大宮市の教育研究会で行われていた10年・20年・30年の永年勤続会員の表彰制に代わって、運営委員の表彰がされました。身内で褒めあっているような印象で、感動が伝わりませんでした。

②研究会の会費が今年から2000円に値上がりしました。県の分担金が上がったためとされています。先日配られた会員名簿は装丁が立派すぎて無駄遣いの印象を受けたのは一部の人だけだったでしょうか。また全員に配布する必要がある物だったのでしょうか。これにかけるお金があるのなら会費を少しでも低くしてほしいものです。

③市教研関係の会議のほとんどは旧浦和地区に偏りすぎています。会場を持ち回りにするなど、全体を考えた運営がなされないのは何故でしょう。